

小池自治会の皆様

謹んで新春のお喜びを申し上げます。旧年中は会員の皆様方には多くのお支援ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

昨年中は新型コロナウイルスの流行ということで、いろいろな行事が自粛となり、内にこもることが多くなりました。行動も規制され気分も内向的になる半面、今までの自分の行動を見直す良い機会でもあったのではないかと感じています。

自治会活動も自粛したものもありますが、交通安全、防犯、防火防災及び女性部の活動は行ってまいりました。また自治会管理の街灯に関しましても電灯のLED化を進展させてまいりました。新型コロナウイルスも必ず収束します。その時には大いに自治会活動を発展させていきたいと思えます。住みやすい町づくりにはどうしても皆様方のお力をお借りしなければなりません。皆様方の自治会活動へのご参加をお願いして年頭のご挨拶とさせていただきます。

小池自治会会長 森井郁夫



総務部

令和元年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に蔓延し、百年に一度と言われる疫病になりました。

未知のウイルスは、多くの重症者・死者を出し、いまだに終わりが見えません。学校は休校になり職場・飲食店・交通機関・旅行関係に甚大な影響が出ています。このウイルスは、人との接触を介して伝染するため今迄とは違う生活様式を強いられています。

その中であって、小池自治会の役員会は休まず、月1回の定例会を注意深く実施致しました。数か月遅れで自治会費の集金も各班長様のご努力により終了することができました。しかし、例年の全国運動は旗を掲げる形式で実施し、各部の年中行事は休止を余儀なくされています。

コロナ禍では、非接触型の生活様式が求められます、自治会においては近年の核家族化、個人情報保護の保護化で昔の大家族・お隣さん同士の時代から遠くなり、自治会活動・新入会員の減少等に影響が出ています。コロナ禍でさらに影響が出ることを危惧しております。

人はお互いにかかわりあって、喜怒哀楽や生きがいを見つけられると思うのですが、これからは、新生活様式でも試行錯誤し、工夫しながら自治会とともに地域コミュニティの崩壊だけは防がなければ、と思うこの頃です。

小池自治会総務 安藤政治

街灯部

小池自治会街灯部は、自治会内に数ある部でも初期の創部と伝え聞いております。自治会内私道には、142箇所の街灯（防犯灯）が設置されています。

街灯部は、この街灯の維持管理が主な業務です。街灯の多くは蛍光灯器具で設置後30年近く経過した器具もあり、近年痛みが目立ってきています。蛍光灯器具は数年前から各メーカーとも製造を中止してLED器具に変わってきております。

自治会内街灯も老朽化した蛍光灯器具を大田区役所の助成と自治会街灯部の費用でLED器具に更新を始めました。令和2年12月末現在、142灯の内61灯がLED器具に更新されました。今年度39灯がLED器具に更新されましたが残りの81灯全てがLED化されるには未だ時間が掛かりますが、引き続き更新には努力してまいります。

街灯部でも街灯の巡回点検は行っておりますが、皆様のお宅の近くで、蛍光灯の球切れあるいは点滅等にお気づきになりましたら、器具の下に小池自治会の機器番号が記載されていますので、自治会館までご連絡くださいますようお願いいたします。また街灯器具の移設・新設等ご希望がありましたら合わせてご連絡をお願いいたします。



街灯部長 原龍興

美化部

この度、美化部をお手伝いさせていただくことになりました斎藤と申します。

美化部の活動である大きなイベントの一つに、12月中旬に行われた自治会館の大掃除がありました。ニューノーマルが定着してきた今、人が集まるかつどうはなかなか難しいとは思いますが、新しい日常を取り入れながら、自治会の活動として、また絆を深められる場を提供してまいりたいと思います。

会員の皆様も、この様な機会を利用して、自治会館の中や自治会の活動に参加してみたいでしょうか。

このコロナ禍で生活が大きく変わった方も多くいらっしゃると思っております。あくまでも無理のない範囲でお互いに協力し合っていけたら良いなと思っております。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。

美化部長 斎藤祥子

防火防災部

コロナ過でも地震対策を忘れずに！（大地震に備えよう！）

小池自治会の避難所は、皆さんご承知の通り小池小学校ですが、コロナ過で避難所はコロナ感染防止の為、避難者の受け入れ人数が大幅に削減されます。また避難所生活は想像を絶する程大変である事が、被災者からの避難所生活の情報等で聞かれます。

小池自治会では会員の皆様に、自分の身は自分で守り、在宅避難（親戚や知人宅）で震災をのり切る啓蒙活動を行っています。

自分の身は自分で守る啓蒙活動（3本柱）

1：我が家の耐震は大丈夫か（耐震診断の実施を）

旧耐震基準で建てられた建物は、現在の新耐震基準を満たしていない建物強度の為、震度6から震度7の大地震に直撃されると倒壊してしまう危険性が非常に高いと思われます。

耐震診断とは、昭和56年6月以前の旧耐震基準で設計されている建物の耐震性を確保する作業で区の補助があります。

2：家具の転倒防止は出来ているか

家具の転倒で死亡や大けがの事例が数多く報告されています。

3：食料や水その他生活必需品の備蓄は出来ているか

凡そ家族が一週間程度生活できるだけの量を備蓄する。

防火防災部長 須網

女性部・防犯部

9月29日、小池自治会から女性部員4名が、田園調布警察署女性部会の交通事故死ゼロを目指す「事故なしキャンペーン」に参加。

10月14日、防犯部として、全国地域安全運動に2名で参加。

11月4日、大田区地域力推進部地域力推進課主催の新型コロナウイルス感染症に対する大田区の対応についての説明会に参加。

12月3日、田園調布交通安全協会の「交通事故防止キャンペーン」に参加。

12月8日、田園調布母の会の「ひとの子どもわが子ども同じ愛の手で」講演会に参加。

12月29日、年末防犯警戒への激励訪問に役員を中心とした自治会員10名が参加。」



女性部長・前防犯部長 石垣晴子

青少年部

新年あけましておめでとうございます。青少年部長の井上です。

昨年は新型コロナの影響で行事はすべて中止になりました。地域の子供たちに年末の餅つきまで中止になってしまったためせめても何か喜んでもらえないか小池自治会役員で検討し、青少年部主催 小池若者組合、小池自治会 女性部、防火防災部の協賛いただき、12月19日（土）にクリスマスプレゼントを配布させていただきました。

当日は1時間以上前から列ができ、10:30開始と同時に先着100名のところ200名程度の子供たちに参加いただきました。プレゼントは予備含め140個でしたので全員には配れませんでした。今年もいろいろな行事を予定していますのでまた参加していただきますようお願いします。



●令和3年行事予定

5月 潮干狩り

7月 ほたる鑑賞

10月 秋味覚

いろいろ地域の子供たちの楽しめる行事も準備していきますので楽しみにしてください。

青少年部長 井上修吾

広報部

昨年は年の初めから新型コロナウイルス感染症に振り回された一年になってしまいました。

自治会活動や各部の活動が中止になり、広報誌も休刊に追い込まれてしまいました。昨年9月頃から徐々に活動が始まり、広報誌も新年号から復刊します。楽しい話題を届けられれば幸いです。

新型コロナウイルス感染症の諸問題は、世界の英知が集められれば、時間が解決することと思いますが、暫くの間はこの未知のウイルスと付き合ってゆかねばなりません。自身が感染しないような方策を講じるのは勿論ですが、自分が陽性で有るか無いかに関わらず、一人ひとりが「他の人につさない」ことを意識した行動を心がけることが、この感染症を抑え込む最も有効な方策ではないかと思えます。

今年が良い年となりますよう皆様とともに力を合わせ、この災禍をのり切りましょう。

広報部長 田島道治